



# 芝川小だより

5月号 No.2  
令和8年4月30日  
さいたま市立芝川小学校



## さいたま市から宇宙へ ～「和」～

若葉の緑が日に日に濃くなり、学校にも活気あふれる季節がやってきました。5月のスタートとともに、5月1日の「さいたま市民の日」を迎えます。この日は、さいたま市の誕生日を記念し、市民がその歴史や文化に親しむ日とされています。そこで、子どもたちに、さいたま市出身の宇宙飛行士・若田光一さんのお話をしました。

若田さんは、旧大宮市・大宮別所小学校の出身で、日本人最多となる5回の宇宙飛行を経験し、日本人最長の504日間に及ぶ宇宙滞在記録をもっています。4回目となる2014年の第39期長期滞在では、日本人として初めてISS（国際宇宙ステーション）の船長を務めました。

子どもたちには、クイズを交えながら美しい宇宙の写真を見せ、ISSや宇宙飛行士の仕事について紹介しました。中でも、宇宙の厳しい環境や、そこで働く宇宙飛行士の姿に、特に興味をもって聞いている様子でした。「宇宙空間ってどんなところ？」という問いかけに対して、「空気がない」「暗い」「無重力」といった声が上がりました。ほかにも、「温度差が大きい」「人体に有害な放射線が多い」「宇宙デブリがたくさん飛んでいる」など、宇宙は非常に過酷な環境であることを学びました。

そのような環境の中で、若田さんが大切にしていたことが「和」です。若田さんが船長を務めた第39期のエンブレムには、漢字で「和」の文字が描かれています。「和」とは、みんなが仲良く力を合わせることで、ISSでは、半年間、国籍も言葉も文化も異なる仲間と共に生活し、仕事をします。地上で支援するスタッフを含め、違いを認め合い、助け合わなければ仕事は成り立ちませんし、何より宇宙では一人で生きていくことはできません。若田さんが考える「和」とは、相手の話をよく聞くこと、自分の考えもきちんと伝えること、困っている人がいたら助け合うこと、みんなで同じ目標に向かって進むことです。

新しい学年が始まって一か月。芝川っ子の子どもたちにも、「和」を大切にし、力を合わせながら、みんなで目標を実現して欲しいと思います。

そして、大人になって故郷を思い返したとき、みんなで頑張ったことや笑い合った思い出が、次の一步を踏み出す力となってくれたらうれしいです。

### 《子どもたちに出した 宇宙クイズ》

さいたま市PRキャラクター  
つなが竜又



第1問 ISSが地球を1周するのに、どのくらいの時間がかかるでしょう？

- ① 1.5週間 ② 1.5日 ③ 1.5時間

第2問 ISSの外（宇宙空間）の温度は、何℃くらいでしょう？

- ① 約0～40℃ ② 約-100～0℃ ③ 約-100～100℃

※答えは、お子さんに聞いてみてください。